

復興支援フォーラムニュース No. 125

(URL <http://www5a.biglobe.ne.jp/~tkonno/FK-forum.html>)

<事務連絡先> 今野順夫 (tkonno67@gmail.com)

【第123回ふくしま復興支援フォーラム／2018年2月28日】

県民健康調査から見えるもの

福島大学名誉教授・前福島県民健康調査検討委員会委員
清水修二

はじめに

県民健康調査はぜひとも成功させなければならない
政治的価値判断を介在させてはならない

1. 県民健康調査の目的

- (1) 2つの目的
被曝の影響評価は目的の1つ
- (2) すでに明らかな被曝以外の健康被害
最大の健康被害は関連死

2. 放射線被曝の実態

- (1) 被曝線量のレベルと時系列変化
- (2) 内部被曝はよくコントロールされている

3. 深刻な「遺伝的影響への懸念」

- (1) 「これ以上確認できない被害」にどう向き合うか
- (2) 理科と社会

必要があるか？難しいですね。支援の対象も、できる範囲と思うと、偏りますね。原発事故と限界集落、・・事故がなくても消滅する運命と言ったら怒られそうです。住民主導のまちづくりは困難かと思えます。(望ましいことではあります。・・・)。戻った人だけでなく避難した全員が対象といっても、現実的には相当むずかしいと思えます。「役場の職員はどこに住んでいるか」は、大変難しい質問ですね。富岡町は元々16,000人が4,100人・・・1/4ということで。むずかしい質問のオンパレードのようで・・・。(S.S)

★ 市町の枠を超えた連携は、大学の中立的な役割というお話に、確かにそうだなと、感じました。広域避難者支援のあり方は、市町毎に大きく差が出てしまいます。そういった視点の連携支援もぜひお願いしたいです。(A.T)

★ 相双地域に10名のスタッフを配置して、相双の復興に尽力していること、有り難いことだと思います。ただ、何か良い解決策を提示すべきというご意見に関しては、大学の性格から無理かなと思えます。基本的には、そこに住む住民のご意向を第一に、それを支えることが大切だと思えました。良い解決策も、住民の主体的な取り組みが無ければ効果は発揮できないと思えます。その意味で、地域住民が自らの力で解決しようとすることに最大限の支援をすべきと思えます。地域の復興の先頭に立てる、リーダーを養成するという視点は、特に重要だと感じました。できるだけ、長く、継続してほしいと思えました。双葉8町村の一体的なビジョンの必要性も感じました。各市町村の若手（役場職員及び民間）を含むリーダーの連携が必要と感じました。(T.K)

★ (1)#122フォーラムを開催して頂き、有難うございます。(2)復興＝後継者問題の観点から大学が入って行かれる事は大切だと思います。(3)市町村ごとの明日を考える会を進める上で、国として20年後、30年後の東北を考えてビジョンを打ち出す事が必要だと思います。(4)今回#122、前回#121等懸念に取り組まれているのですが、反面2016年～世の中オリンピック一色、且復興を応援しようという気概が見られない。この相反状況を何とかしないといけないと思っています（復興風化防止）。(T.S)

★ 被災地の現状が写真とグラフで分かりやすくまとめてあり、有り難かったです。被災地が抱える問題の多様性がよくわかりました。(E.S)

★ 「被災地の抱える課題」のお話が良かったです。たしかに「大学」は、色がなく色々なアプローチがしやすいと思えます。「ふたばの明日を考える会」は、地域が主体の地域リーダーの育成の取り組みだと感じました。あとはイベント的で目的がよくわかりませんでした。(課題とどのようにリンクしているかわからない)。参加者からの率直な意見が、大変おもしろかったです。(A.M)

★ 特別養護老人ホームを増加させるべきと思っています。老々介護の高齢者が、被災地で多くなっています。(M.T)

◆◆◆◆【会場カンパありがとうございました】◆◆◆◆

第122回ふくしま復興支援フォーラム（2月8日）の会場で、カンパ1600円をお寄せいただき、ありがとうございました。ご報告とともに、御礼申し上げます。（今野）

▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽

【会計報告】（2018. 2. 26現在）

第1期（～2015. 9）累計 収入214, 746円 支出207, 640円 残（繰越）7, 106円

第2期（2016. 10. 27～）

「収入」（2018. 1. 18までの累計）	98, 656円	（第1期 繰越 7, 106円含む）
会場カンパ(2018. 2. 8)	1, 600円	
計	100, 256円	

「支出」2017. 11. 30まで	累計 75, 740円
会場費（123～125／2018. 2. 8）	7, 200円
計	82, 940円

「残金（現在高）」 2018. 2. 26 17. 316円

▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽

<予告> 第124回（2018年3月11日（日） 18時30分～20時30分）

テーマ 「浜通りの地域づくり、復興八年目のロードマップを描く
～地域の底力を共に再生するためにできる事～」

報告者 鈴木 亮 氏（ふたば地域サポートセンター準備室ふたすけ室長・
東日本大震災全国ネットワーク福島担当）

会場 福島市アクティブシニアセンター「AOZ（アオウゼ）」
視聴覚室 MAXふくしま4F（福島市曾根田町1-18）

<予告> 第125回（2018年3月27日（火） 18時30分～20時30分）

テーマ 「被災地からの脱却を目指して」

報告者 遠藤 雄幸 氏（川内村長）

会場 福島市アクティブシニアセンター「AOZ（アオウゼ）」
大活動室1 MAXふくしま4F（福島市曾根田町1-18）

<予告> 第126回（2018年4月12日（木） 18時30分～20時30分／野中俊吉氏）

第127回（2018年4月26日（木） 18時30分～20時30分／堀川章仁氏）